

第五商業高校 令和5年度 簿記演習 年間授業計画

教科：(商業)科目：(簿記演習(選択C)) 対象：(第2学年B組・C組・D組)

科目の目標

【知識・技術】簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
取引の記帳	簿記上の取引の意味を理解させる	【知識・技術】 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。				4
現金・預金の記帳	現金出納帳・当座預金出納帳の記入の仕方を十分理解させる					3
小口現金出納帳	小口現金出納帳の記入の仕方を理解させる					1
仕入帳・売上帳	仕入帳・売上帳の記入の仕方を十分理解させる	【思考・判断・表現】 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。				3
商品有高帳	商品有高帳に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					1
伝票	伝票に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					1
仕訳集計表	仕訳集計表を正確・明瞭に記帳する能力を養う。	【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				2
中間考査			○	○	○	1
特殊な手形取引	手形取引に関する理解を深め、正確・明瞭に計算する能力を養う。					4
営業外受取手形・営業外支払手形	営業外受取手形・営業外支払手形に関する理解を深め、正確・明瞭に計算する能力を養う。					1
有価証券	有価証券に関する理解を深め、正確・明瞭に計算する能力を養う。					1
本支店会計	本支店の財務諸表を合併する必要性を理解させる。 本支店合併財務諸表を作成する能力を養う。					3
本支店会計の計算	本支店会計に関する理解を深め、正確・明瞭に計算する能力を養う。					2
期末考査						1
費用の繰り延べ	費用の繰り延べに関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					2
収益の繰り延べ	収益の繰り延べに関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。	【知識・技術】 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。				2
費用の見越し	費用の見越しに関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					2
収益の見越し	収益の見越しに関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。					2
有価証券の評価	有価証券の評価に関する理解を深め、正確・明瞭に記帳する能力を養う。	【思考・判断・表現】 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。				2
減価償却	損益計算書と貸借対照表を正確・明瞭に作成する能力を養う。					2
決算	株主資本等変動計算書を正確・明瞭に作成する能力を養う。					3
財務諸表	損益計算書と貸借対照表を正確・明瞭に作成する能力を養う。	【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	3
総復習	検定試験対策に入る前に、これまで学習した内容を総復習し、学習内容理解の定着を図る。					3
中間考査						1
精算表	精算表を正確・明瞭に作成する能力を養う。					5
検定対策	模擬試験問題集の模擬問題を中心に問題演習を行い、実践力をつける。					4
全商簿記検定	全商簿記検定に向けて重要事項を理解する。					1
期末考査						1
検定対策	模擬試験問題集の模擬問題を中心に問題演習を行い、実践力をつける。					9
まとめ	1年間学習したことを振り返る。		○	○	○	1

合計 71